

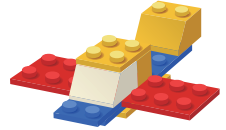


静岡銀行

What's SHIZU-GIN?

第115期 営業の中間ご報告

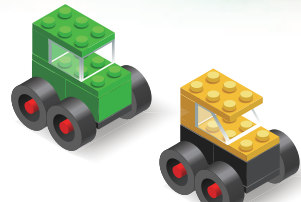
2020
December



第14次中期経営計画

COLORS

～多彩～



地域のお客さまの 夢の実現に寄り添う 課題解決型企業グループへの変革

基本理念 **地域とともに夢と豊かさを広げます。**

新型コロナウイルスの感染拡大は、リーマンショックを超える大きな打撃を世界経済に与えました。日米欧の7～9月期のGDPは、4～6月期の底からそろって急回復したものの、コロナ前の水準への正常化ははまだ遠く、感染の再拡大が見られるなど、景気の先行き不透明感は強まりつつあります。

こうしたなか、県内経済においては、GoToトラベルなどの消費喚起策もあって持ち直しの動きが見られています。今大切なのは、感染防止を優先しながらも、経済回復に向けた歩みを止めないことです。私たち静岡銀行グループも地域の皆さまと力をあわせて、この難局をしっかりと乗り越えてまいりたいと思います。

さて、静岡銀行グループでは、今年の4月から第14次中期経営計画「COLORs～多彩～」を

スタートさせ、3年間で目指すビジョン「地域のお客さまの夢の実現に寄り添う、課題解決型企業グループへの変革」の実現に向けて始動しました。おもな取り組みは本誌でお示したとおりですが、2020年度上半期はコロナ禍という前例のない厳しい環境下、お取引先の資金繰り支援や資産運用のアフターフォロー、店頭営業体制の維持など、地域金融機関としての社会的使命を果たすとともに、お客さまに寄り添った課題解決の実践に力を注ぎました。くわえて、グループ一体での課題解決力強化に向け、銀行、証券、リース、コンサルティングなどグループ会社間での人材交流を100名規模で実施したほか、人材紹介業務をはじめとするコンサルティングメニューの拡充を図りました。

引き続き、さまざまな機能を有する静岡銀行グループならではの「総合金融サービス」の

提供と外部の専門機関との連携を通じて、ニューノーマル(新しい生活様式)の時代における地域、お客さまの課題解決に力を注いでまいります。

また、第14次中期経営計画において長期的に目指す姿「地域の未来にコミットし、地域の成長をプロデュースする企業グループ」の実現に向けた取り組みとして、本年10月には山梨中央銀行と包括業務提携「静岡・山梨アライアンス」を締結しました。行政の連携も積極的で親和性の高い山梨県を地盤とする同行との提携の最大の目的は、「いかなる経営環境にあっても、静岡県・山梨県という地元地域とともに、両行の持続的な成長を実現すること」です。包括業務提携を通じて、両行の独立経営を堅持し、地域で築いてきた顧客基盤やブランドを維持しながら、双方の経営資源を利活用しあうことで地域と静岡銀行グループの成長につなげることを目指します。まずは目に見える形で成果を出し、地域・お客さま・株主・役員としっかりとメリットを享受していただける提携に育てていきたいと思えます。

コロナ禍を含め、さまざまな変化の波が押し寄せるなか、従来の延長線上には将来の展望が描けない時代に突入しています。静岡

銀行グループでは、第14次中期経営計画のさまざまな取り組みを通じて、自らが変革を遂げるとともに、地域、お客さまに寄り添い、持続可能で夢のある地域社会を皆さまと創りあげるため、グループ一体となって全力を注いでまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

頭取 **柴田久**



Contents

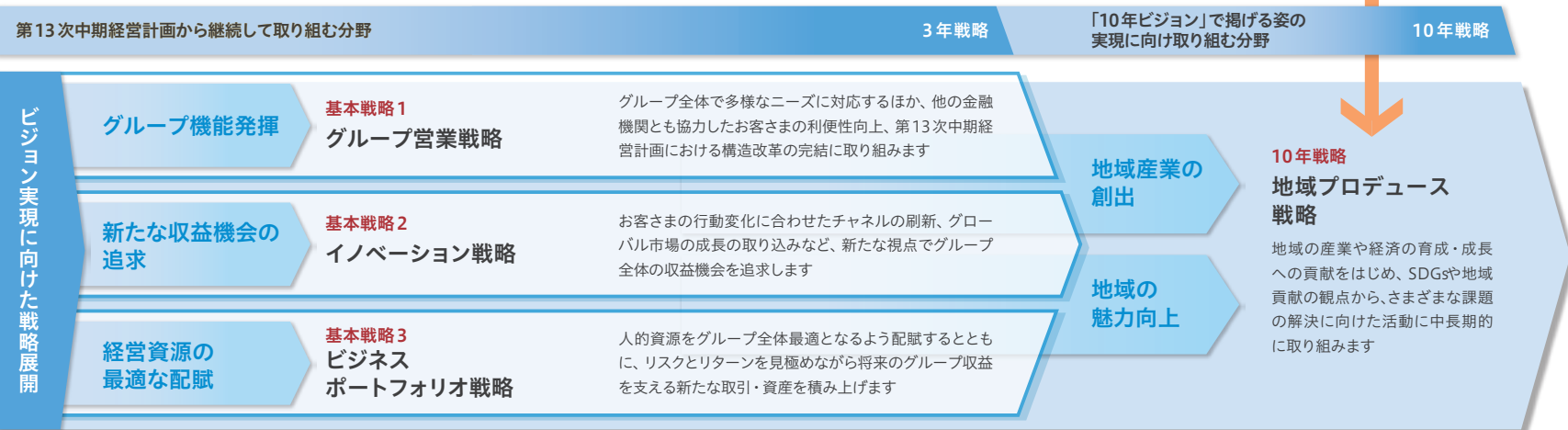
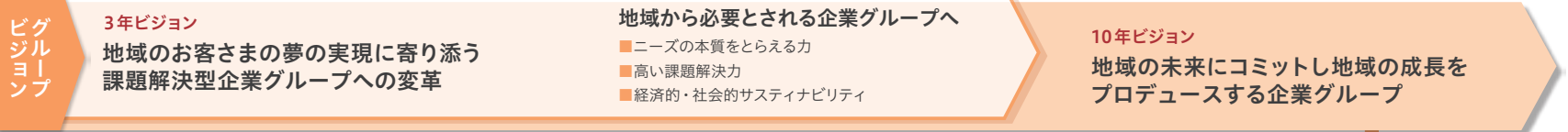
- | | | |
|---------------|------------------------|----------------------|
| 1 Top Message | 9 課題解決型
企業グループをめざして | 13 地域社会への貢献 |
| 3 第14次中期経営計画 | 11 営業のご報告 | 17 第115期
営業の中間ご報告 |
| 5 Topics | 12 Shizugin:ship | 21 決算情報 |
| 7 地方創生 | | |

第14次中期経営計画

COLORs

～多彩～

基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」のもと、地域社会の豊かな未来の創造に向けて、静岡銀行グループが一体となって「課題解決型企業グループ」への変革に取り組んでいます。



■ 三保支店リニューアル

2020年7月、営業店の窓口業務の変革に向けた試行店として、三保支店の一部リニューアルを実施。現金の取り扱いなど事務処理の機械化を進めるため窓口とATMを一体化させたほか、ペーパーレスでの手続きが可能となる「タブレット端末」を設置しました。今後も、さまざまなデジタル技術を取り入れながら、お客さまの利便性向上と業務効率化の両立に取り組みます。



窓口中央にATMを設置し、現金の出入金はATMを介して行う



融資や資産運用の相談はテレビ相談端末で行い、カウンターのタブレット端末では、住所変更や公共料金の口座振替、残高証明書の発行などの手続きが可能

■ 投資用不動産AIシミュレーション「Shizugin Investment Planner」の導入

融資審査の高度化を通じ、より付加価値の高いサービスの提供をめざしてリー・ウェイズ株式会社と共同開発した不動産シミュレーションを導入

おもな機能	キャッシュフロー予測機能	賃貸不動産の入居率・賃料・必要経費などを予想し、賃貸不動産から得られるキャッシュフローのシミュレーション
	売却価格査定・推移提供機能	賃貸不動産の将来の売却価格を予想し、購入価格・ローン残高・予想売却価格・累積キャッシュフローから、将来のある時点で賃貸不動産を売却した際の予想手残り資金をシミュレーション

■ 山梨中央銀行と包括業務提携「静岡・山梨アライアンス」を締結

10月28日、両行の頭取が東京都内で記者会見を行い、包括業務提携について説明を行いました。今後、互いの独立経営を堅持しながら、それぞれの強みを活かした協業やコスト削減に取り組み、提携効果を高めていきます。

提携の概要

- 両県経済の発展に資する協業
- グループ会社機能など相互の経営リソースを活用した収益獲得
- 各種システムやバックオフィス業務の共同化によるコスト削減
- 重複エリアの店舗共同化と相手方店舗を活用した営業エリアの拡大
- トレーニー派遣や人材交流、研修の合同開催による人材育成など



■ 本部組織の一部改定

DX戦略統括室の設置

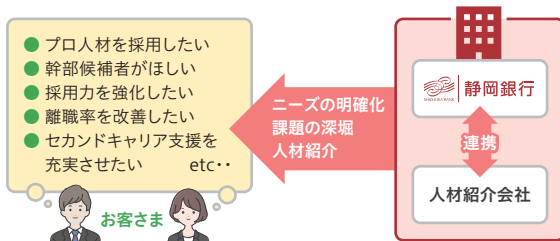
～テクノロジーやデータ等を活用したグループ全体のビジネスモデルの変革をめざし、戦略的に取り組む
*DX(デジタルトランスフォーメーション)=デジタル技術を活用したビジネスの変革

デジタルチャネル開発プロジェクトチームの設置

～デジタル技術を活用した顧客体験の刷新に向けて、非対面チャネルの強化を図る

県内金融機関初! 「有料職業紹介事業の許認可」を取得

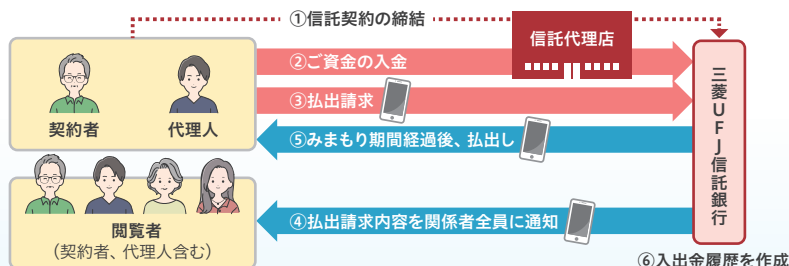
2020年7月、有料職業紹介事業の許認可を取得し、人材紹介業務の取扱が可能となりました。これにより、経営幹部人材や経営課題の解決に必要な専門人材をマッチングするなど、「ヒト」を視点とした幅広い人材ソリューションを展開し、お客様の事業の成長を支援します。



地方銀行初! 代理出金機能付信託「つかえて安心」取扱開始

2020年8月、三菱UFJ信託銀行の代理出金機能付信託「つかえて安心」の取扱を開始。本商品は、お客様が元気なうちからご利用いただき、将来的に体力や判断能力が低下した場合でも、家族などが本人に代わってスマホアプリを利用して出金できます。さらに、金額の請求内容を別の家族に通知することで、金銭トラブルや特定の家族の使い込みを防ぐことが可能となります。

契約者	個人のお客さま(居住者のみ)
信託金	200万円以上1円単位(上限なし、追加信託可能)
預金保険	対象
管理手数料	①設定時・追加信託時 ・5,000万円以下の部分/信託金額の1.65%(消費税込) ・5,000万円超の部分/信託金額の1.1%(消費税込) ②月額管理手数料/528円(消費税込)



4年連続! 地方創生への取り組みが優良事例として受賞

まち・ひと・しごと創生本部事務局(内閣官房)から、地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」として受賞しました。2020年度は、73の金融機関による34事例が選定され、静岡銀行は地方銀行では初めて4年連続での受賞となりました。

受賞事例

地方公共団体と連携した新現役交流会開催及びWebシステムの活用による地域中小企業の課題解決に向けた取組(静岡銀行、しずおか焼津信用金庫、静岡信用金庫)

県内金融機関との「相続手続の共通化」を拡大

昨年10月、浜松いわた信用金庫と実施した「預金等の相続手続にかかる書類・手続きの共通化」を、県内金融機関へ拡大。これにより、相続手続に必要な書類の共通化、さらに、一定の基準を満たす場合には、相続人代表者1名のみ署名・押印などで手続が可能となります。

共通化実施金融機関

静岡銀行、スルガ銀行、清水銀行、静岡中央銀行、浜松いわた信用金庫、しずおか焼津信用金庫、静岡信用金庫、沼津信用金庫、三島信用金庫、島田掛川信用金庫、遠州信用金庫、富士信用金庫

全国初! 「基幹系システム・フロントランナー・サポートハブ」支援案件に決定

2020年4月、金融庁が金融機関の基幹系システムに関する先進的な取り組みを支援するために設置した「基幹系システム・フロントランナー・サポートハブ」に申請し、第1号案件として支援が決定しました。現在、静岡銀行では、2021年1月稼働予定の「次世代システム」の構築に取り組んでいます。今後も、金融庁の支援を得ながら、より一層お客様の利便性向上や安全性・安定性を追求したシステムの構築に取り組めます。

新型コロナウイルス感染症への対応 ~地域社会への貢献

静岡銀行グループでは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めるとともに、地域金融機関としての使命を果たすべく、グループ一体となってさまざまな支援に取り組んでいます。

寄付金

医療関係者の活動支援を目的に、静岡県に1千万円を寄付



地域企業支援



お取引先商品の販売斡旋、仲介販売

- 2020年4月~7月にかけて、消費者の立場から支援するため、グループ従業員に対してお取引先46社・48商品の販売を実施し、7百万円を上回る売り上げとなった
- さらに、松坂屋静岡店、静岡新聞社・静岡放送の従業員を対象に同様の商品販売を実施
- 現在、第2弾として、グループ従業員向けに県内を中心とした宿泊施設77社・163施設の利用促進キャンペーンを実施中

県内大学生をアルバイト採用

新型コロナウイルスの影響でアルバイト収入を失うなど、経済的な影響を受けている大学生約30名を採用

TECH BEAT Shizuoka 2020 を開催



2020年7月、静岡県内企業と首都圏のスタートアップ企業をつなぐ商談会をオンライン形式で開催。AI・IoTを活用した先端技術を紹介するなど、県内産業の活性化や新たなビジネスの創出をサポートしています。

- 【参加登録者数】 2,798名
- 【総視聴回数】 12,346回（アーカイブ配信を含む）
- 【総商談件数】 320件

TECH BEAT Shizuoka アワード

2019年7月に実施した「第1回TECH BEAT Shizuoka」に関連した440件の商談のなかから優れた協業事例を表彰
静岡県知事賞：丸山製茶×LOAD&ROAD
実行委員会委員長賞：江崎新聞店×Bitkey
特別賞：スクロール×スペースリー

参加者の声

- 新型コロナウイルスの影響など不安を感じているなか、ゲストスピーカーやスタートアップ企業の話を聞くことで明るく前向きな気持ちになった
- あらためて、静岡にもデジタル技術の活用やオープンイノベーションが必要だと感じた。今後も情報や知識を蓄積していきたいと思う



地方創生部 TECH BEAT担当 井出雄大

今回は、新型コロナウイルス感染症対策で世界的に注目された台湾のデジタル担当大臣オードリー・タン氏を講師に招くなど、ニューノーマル(新しい生活様式)における役立つ情報の提供を意識しました。今後も地域企業の成長に貢献していきます。



「SHIZUOKA360°」を設立

2020年6月、静岡新聞社、ふじのくに物産とともに、持続可能で豊かな地域社会の未来の創造をめざし、協議会「SHIZUOKA360°」を設立しました。今後、3社で連携しながら、地域のさまざまなニーズや課題に応えるため、幅広い分野において事業の企画立案や、実現に向けて取り組みます。



取組事例

- 地域の課題を解決する志をもつ人たちが集まり、考える「場」づくり
- 「静岡」の市場価値の再認識にもとづく再価値化と再構築
- 地域の魅力を全国や世界に伝えるローカルメディアの発信
- 新型コロナウイルスの影響にともなう「リビングシフト(住む場所・働く場所の変化)」に沿った、新たな社会の仕組みづくりのサポート
- 地域資源の「地産地消」等を通じた経済の地域内還流の推進 など

第6回「地方創生全体会議」を開催

- 【日時】 2020年9月29日
- 【会場】 メイン会場 しずぎん本部タワー



2020年9月、静岡県内の首長ならびに地方公共団体の地方創生担当者のほか、商工会議所、県内大学関係者など約500名が静岡銀行のテレビ会議システムやオンライン配信 (YouTube) を通じて参加。デジタル技術を活用したまちづくりの事例など、地方創生に向けた情報を共有しました。

講演内容

- イノベーターの超絶まちづくり～縄文型ビジネスで突き抜ける
(講師) BBT大学経営学部グローバル経営学科 学科長・教授 谷中修吾氏
- Withコロナにおける観光産業の変容と対応(仮説)について
(講師) (株) 地域経済活性化支援機構 執行役員マネージング・ディレクター 大田原博亮氏
- サステナブルな真のスマートシティに向けて
裾野市の進める「スノ・デジタル・クリエイティブ・シティ構想」の実現
(講師) 裾野市長 高村謙二氏

しずぎんアイデアコンペティション「ジョイントLAB.」連携事業者決定

地域経済の活性化に資する連携事業者を募集した「ジョイントLAB.」では、応募総数43件の事業アイデアのなかから3件を選定。今後、新たな連携ビジネスの展開に向けて具体的な検討を進めていきます。

連携事業アイデア

- ① 静岡県女性経営者団体「A・NE・GO」(静岡市)
～女性事業承継者特有の課題に対する支援事業
- ② (株) 世界市場(東京都品川区)
～日本における農家の新たな収益機会につながる輸出サプライチェーンの構築事業
- ③ 篠沢亜美氏(賀茂郡松崎町)
～松崎町の魅力を映像化し、海外映像製作会社へ発信するフィルムコミッション事業



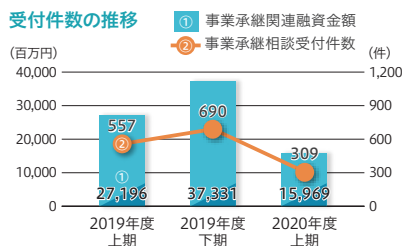
しずおかキッズアカデミーの取り組みが「This is MECENAT」に認定

2020年7月、2年連続で公益社団法人企業メセナ協議会が主催する認定制度「This is MECENAT」に認定。「しずおかキッズアカデミー」は、2016年度から15回開催し、約1,620名の親子に参加いただいています。



事業承継サポート

お取引先が直面している経営課題の解決支援、新たな事業の創出など、グループのもつ機能やネットワークを活用し、地域企業の持続的な成長を支援しています。



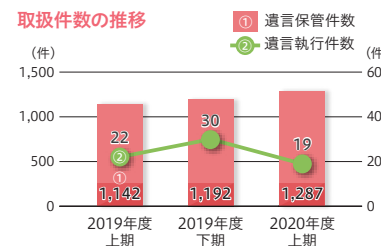
2020年度上期実績

- 資産有効活用 16件
- 自社株対策 163件
- オーナー相続 62件
- 資本政策 14件
- その他事業承継 54件

Corporate /

相続サポート

静岡銀行グループの豊富な商品・サービスを活用して、お客さま一人ひとりのライフプランに応じた最適なお提案に努めています。



2020年度上期実績

- 遺言信託成約 120件
- 遺産整理成約 25件

Life planning /

サポート事例 1

後継者不在という課題を抱えていた自動車部品等製造業A社。社長のご意向を確認し、静岡銀行グループで提供できる解決策をご提案した結果、M&Aに着手されることを決断。現在、成約に向けて相手先の選定などに取り組んでいます。



サポート事例 2

ご主人を亡くされ、連絡先のわからない相続人がいらっしゃることを悩まれていたお客さま。ご主人と取引のあった静銀ティーエム証券に相談いただき、静岡銀行での「遺産整理業務」を紹介。現在、円滑な相続手続きに向けてサポートに取り組んでいます。



ソリューション営業部
法人ソリューション営業グループ
土屋 裕誠

理想的な形で事業承継を実現するため、業務を超えて連携

このお客さまは、以前に勤務していた営業店で担当させていただいたお取引先です。

当時から「後継者不在」という課題を認識されていましたが、まだ年齢が若かったこともあり、具体的な解決策の検討には至っていませんでした。

その後、私は1年間の税理士法人への出向を経て、本年4月より、本部で事業承継支援などの業務を担当しています。

そこで、現在の営業店担当者を通じて、社長に今後の展望などを聞かせていただいたところ「相談にのってほしい」と言われ、静岡銀行経営コンサルティングの海野さんとともに訪問しました。

私たちが信頼して相談いただいたわけですから、その思いをしっかりと受け止め、理想的な形で事業承継を実現できるよう、最後まで責任をもってお手伝いをさせていただきます！

お客さまのニーズにお応えする豊富なサービスをご提案

当初、70代前半であった社長は、80歳までは会社経営の第一線に立たれるお考えでしたが、一方で「元気なうちに家族と旅行を楽しむ時間もほしい」と話してくださいました。その後も、会社の状況や将来展望、業界の動向など、話し合いを重ねたうえで「今のタイミングでM&Aに着手したい」とご依頼いただきました。

M&Aとは、経営者が人生をかけて創りあげた事業を譲り渡すことであり、従業員やその家族の人生を左右する決断です。

それだけに、私たちの責任も大きいわけですが、お客さまから「ありがとう」と言っていただけの瞬間が、何よりもうれしくやりがいを感じます。

静岡銀行グループでは、M&Aのほかにも、人材紹介、販路開拓、経営改善、相続など、お客さまの経営課題やニーズにお応えする豊富なサービスをご用意しています。どんなささいなことでも構いませんので、ぜひ、お近くの店舗の担当者にご相談ください。私たちが精いっぱいサポートさせていただきます。



静岡経営コンサルティング(株)
海野 光輝



静銀ティーエム証券(株)
本店営業部
稲葉 智美

お客さまの思いに寄り添い、お役に立てる情報を提供

現在、グループの連携強化を目的として「グループ間人財交流」に取り組んでおり、私も、本年4月に静岡銀行から静銀ティーエム証券に出向となりました。こうしたなかで出会ったのが、今回のお客さまです。

くわしくお話をうかがうと、相談できる司法書士などいらっしゃらないなかで、連絡先のわからない相続人を探すことはむずかしく、とても困っていらっしゃいました。そこで、これまでの業務経験を活かしながらご

相談に応じ、静岡銀行でお手伝いできるサービスがあることを伝えたと、「ぜひ紹介してほしい」と言っていただき、下島支店の杉山さんにつながりました。

これからも、お客さまの声に耳を傾け、思いに寄り添い、少しでもお役に立てる情報を提供することで、お客さまに信頼いただける担当者になりたいと思います。そして、私たちのお手伝いにより、最終的にお客さまに喜んでいただければ、何よりうれしいです。

相続や遺産整理など、不安があればお気軽にご相談を

来店された際、まずは、一般的な相続の流れや法律について説明させていただきました。その後、お客さまから「今後、円滑に進めるために専門家へ支援してほしい」と依頼いただき、静岡銀行が提携する税理士法人とともに「遺産整理」を行うことになりました。

少子高齢化や核家族化の進行などを背景に、家族関係や世帯構成が変化するなか、相続の相談件数は増加傾向にあります。また、相続は、だれしも経験するもので

すが、いざ、そうした場面に直面すると、多くの人が戸惑ったり不安に感じられるものです。

私たちには、こうしたお客さまの不安を解消するための商品やサービスがあり、早い段階から相談いただければ、それだけお手伝いできる範囲も広がります。何か不安に感じていることがあれば、ぜひお気軽に声をかけてください。豊富な経験と幅広い知識をもつグループ従業員が対応させていただきます！



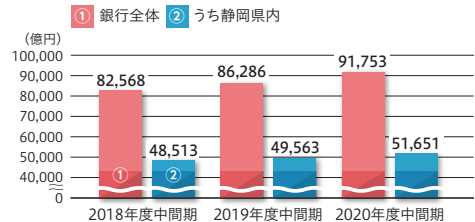
下島支店
杉山 明子

営業のご報告

貸出金

2020年度中間期の貸出金の残高(平残)は、前年同期比5,467億円増加し、9兆1,753億円となりました。

貸出金残高(平残)の推移

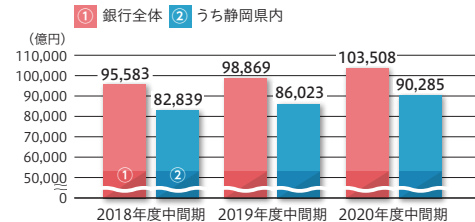


貸出金(平残)のうち静岡県内の割合 **56.2%**

預金

2020年度中間期の預金残高(平残)は、前年同期比4,639億円増加し、10兆3,508億円となりました。

預金残高(平残)の推移

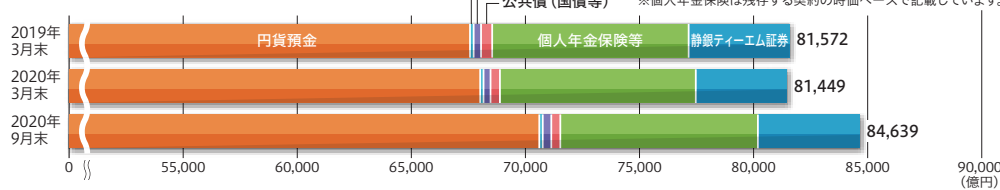


預金(平残)のうち静岡県内の割合 **87.2%**

個人預り資産

2020年9月末の静銀ティーエム証券を含む個人預り資産の残高は、2020年3月末から3,190億円増加し、8兆4,639億円となりました。

個人預り資産(末残)の推移

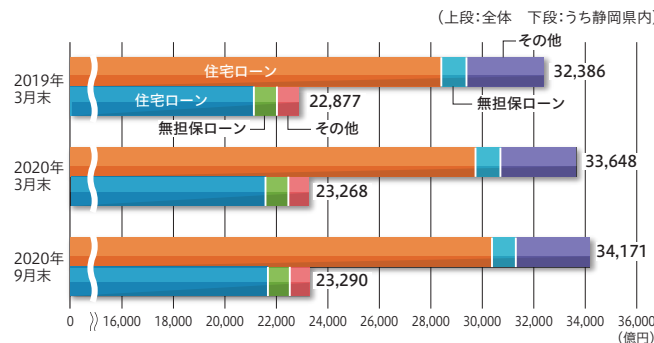


ローン

2020年9月末の個人のお客さま向けローンの残高は、3兆4,171億円で、住宅ローンを中心に、2020年3月末より523億円増加しました。

- ローンの内訳
 - 住宅ローン ■ 無担保ローン ■ その他(資産形成ローン等)
- うち静岡県内
 - 住宅ローン ■ 無担保ローン ■ その他(資産形成ローン等)

※「住宅ローン」はアパートローンを含む

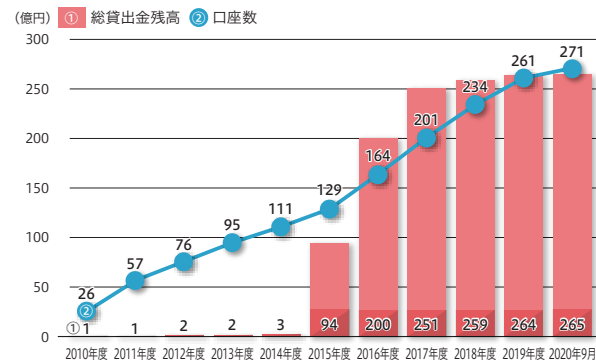


インターネット支店

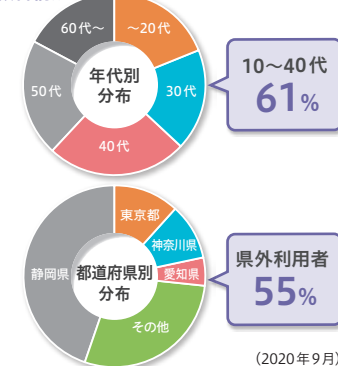
セブン銀行ATM手数料の無料化、宝くじ付き定期預金の取扱開始など、魅力あふれる商品・サービスの提供に取り組み、2020年9月末の口座数は27万口座を超え、総預金残高は4,397億円、総貸出金残高は265億円となりました。本年8月には、期間限定のオリジナル商品「IT人材専用住宅ローン」の取扱を開始しました。



インターネット支店の総貸出金残高(末残)・口座数推移



顧客構成



(2020年9月)

次世代経営者塾 Shizugin:ship ~経営者としてのスキルを磨き、生涯の友人と出会う場所

2020年度上期の活動実績 参加人数のべ **393**名

会員数 **737**社 **1,084**名(2020年9月末現在)

内容	開催実績
セミナー(著名な経営者や専門家の講演会)	10回
ゼミナール(テーマを定め深く学ぶ講座)	2講座2回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、すべてのイベントをオンラインで実施

特別セミナー 男女脳差理解による組織力アップ講座

開催日 2020年7月23日
講師 (株)感性リサーチ 代表取締役社長 黒川伊保子氏

参加者の声

- 多様性や時代の変化を受け入れることの大切さや、男女の脳特性の違いなど、共感できることが多くあった
- 最後まで興味深く視聴できた。今後、職場や家庭で活かしていきたい

特別セミナー メルカリ経営者のGo Boldな経営哲学とは

開催日 2020年9月13日
講師 (株)メルカリ取締役President(会長) 鹿島アントラージュ・エフ・シー 代表取締役社長 小泉文明氏

参加者の声

- 会社の事業計画書を作成中だったこともあり、非常にインスパイアされた
- 時代の最先端をいく経営者の考え方を聴けて、非常に刺激を受けた。とくに目標設定やコミュニケーションに対する考え方が参考になった



文化・スポーツの振興



しずぎんユーフォニア・コンサート

1993年にスタートして以来69回開催し、国内外の一流アーティストの演奏を地域の皆さまにお楽しみいただいています。
入場料収入は、公益信託「しずぎんふるさと環境保全基金」に寄付しています。



第69回 平田耕治 (2020年2月 静岡市)

静岡交響楽団

オフィシャルパートナーとして、静岡県を代表するオーケストラの活動を支援しています。



静岡銀行 presents「クラシック・ポップスコンサート」(2020年8月 静岡市)

しずぎんカルチャー・フォーラム「しずぎん寄席」

落語会の開催を通じて、地域の皆さまに笑顔あふれるひとときをお届けしています。



第24回 春風亭一之輔・古今亭文菊 (2020年1月 静岡市)

しずぎんカップ

少年サッカー

11歳以下の静岡県チャンピオンを決める「しずぎんカップ静岡県ユースU11サッカー大会」、全国各地から小学生が清水に集う「全国少年少女草サッカー大会」に協賛しています。



少年野球

静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会に「しずぎんカップ」として協賛しています。



金融経済教育への取り組み



金融講座

常葉大学、静岡産業大学で「金融講座」を開講しています。静岡銀行グループの従業員が講師を務め、地域金融機関が静岡県経済に果たす役割などを解説し、これまでに約2,500名の大学生が受講しています。
このほか県内各地の学校で、金融や経済に関する教育機会の提供に取り組んでいます。



「エコノミクス甲子園」静岡大会

2011年度から、高校生が経済や金融に関する知識を競う「エコノミクス甲子園」静岡大会を開催。これまで静岡県内の高校から195チーム・総勢390名が参加しました。
本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、静岡大会・全国大会ともにオンライン形式で開催します。



しずぎんアジア留学生奨学金制度

静岡県とアジア地域との橋渡し役を担う人材の育成支援を目的とした「しずぎんアジア留学生奨学金制度」。2011年に創立して以来、9年間にわたり継続して取り組んだ結果、11カ国・89名の留学生に支援を行っています。

国籍

中国33名、ベトナム23名、インドネシア8名、ミャンマー7名、韓国6名、日本4名、マレーシア3名、インド2名、スリランカ1名、バングラデシュ1名、台湾1名



環境への取り組み

～豊かな自然環境を次の世代へ引き継ぐために



地域との共生をめざす基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」の実践に向けて、地域の環境保全に取り組んでいます。

気候変動への対応 (TCFD 提言) への取り組み

気候変動が企業の財務内容に与える影響について適切な情報開示を求める「TCFD」の提言への賛同を表明して以来、気候変動シナリオ分析を進めるとともに、地域の持続的な成長に向けて、グループ一体となって取り組んでいます。



TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース/Task Force on Climate-related Financial Disclosures)

- 主要国の中央銀行や金融監督当局などが参加する金融安定理事会 (FSB) により設立されたタスクフォース
- 投資家への適切な情報提供を目的に、気候関連財務情報の開示を企業に促している



静岡県シェアサイクル事業「PULCLE」レンタルステーションの設置

2020年9月、静岡市が推進する官民連携事業「PULCLE」に参画。静岡市内の3店舗に合計17台分のレンタルステーションを設置しました。

設置店舗

馬淵支店	草薙支店	清水支店
5台	6台	6台



「富士山基金」への寄付

2020年7月、定期預金に係る通知文書の削減にともなう費用の一部として、2百万円を「富士山基金」に寄付しました。

発送を取りやめた通知文書

- ATMで解約された定期預金利息計算書
- 個人(個人事業主を除く)のお客さまの自動継続方式の円貨定期預金の満期案内



「小さな親切」運動

かけがえのない郷土の自然環境を守り、次世代につなぐため、静岡総合サービス(株)内に静岡県本部を設置し、里山づくりやクリーン作戦など、環境保全活動に取り組んでいます。



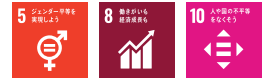
「しずはた山」の植樹活動(2020年7月)



松崎町 石部棚田保全活動(2020年10月)

だれもがイキイキと働ける職場づくり

～従業員満足の向上をめざして



多様な価値観をもつ従業員一人ひとりが、それぞれのライフステージに合わせたキャリアの実現に向け、チャレンジできる職場づくりに取り組んでいます。

柔軟な働き方への取り組み

ニューノーマルに対応した柔軟な働き方の浸透を図るため、本年8月の1ヵ月間を「テレワーク」「フレックスタイム制」「有給休暇取得」の重点取組期間として推進しました。仕事・私生活両面の充実を積極的に追求できるよう、働く時間や場所など、働き方を一人ひとりが考え実践するとともに、価値観等の違いを相互に理解し、助け合う職場づくり・風土の醸成に取り組んでいます。

ダイバーシティ実現への取り組み

■ 女性活躍に向けたキャリアアップ支援

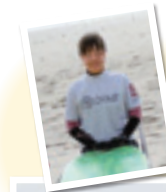
静岡銀行では、指導的地位(課長級以上の役職者)にある女性比率の向上をめざし、マネジメントを担う人材の育成に力を入れ、積極的な登用に取り組んでいます。

指導的地位にある女性の比率

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 上期
15.0%	15.7%	16.1%	16.9%

■ 人材の多様化に向けた採用活動

静岡銀行グループでは、従業員の意識改革を促すためダイバーシティの推進に積極的に取り組んでいます。本年3月には、経営管理部に副業人材を受け入れ、外部の専門人材の知見や人脈を活かし、人事制度改革や人材育成、オンラインを活用した採用戦略など、幅広い分野での助言を受けています。このほかにも、お取引先の課題解決を支援するため、プロフェッショナル人材のキャリア採用を推進しています。今年度は、地域を代表するスポーツ団体に所属する選手等3名を採用し、スポーツ活動と就業の両立を支援しています。あわせて、3名は、行内副業により、定期的に本部での広報活動に従事しながら、グループの文化・風土の改革に向けた施策の検討に取り組んでいます。さらに、「海外留学生の採用」「学生アルバイトの募集」「グループ会社間転籍制度」などを通じて、多様な人材の採用に取り組み、多様な人材が活躍できる職場づくりをめざしています。



サーフィン・ロングボード



プレス浜松 (Vリーグバレーボールクラブ)

人材育成への取り組み

従業員一人ひとりが、静岡銀行グループで実現したい「夢」を掲げるとともに、その実現に向けたキャリアデザインを可視化する「マイキャリアデザインシート」を創設しました。自らのキャリア形成を考える機会を提供するとともに、行外派遣や地域企業派遣、グループ会社を含めた異動希望などを通じて、従業員の多様な働き方・キャリア形成を支援します。

第115期 営業の中間ご報告

企業理念 地域とともに夢と豊かさを広げます。



静岡銀行の概要

2020年9月30日現在

設立	1943年3月1日
資本金	908億円
貸出金	9兆2,170億円
預金	10兆6,395億円
総資産	13兆2,190億円
連結自己資本比率	16.17% うちCET1(普通株式等Tier1)比率 16.17%
従業員	2,864人
本店	静岡市葵区呉服町1丁目10番地 TEL(054)261-3131
店舗数	208店舗 静岡県内 173(本支店152・出張所21) 静岡県外 32(支店26・出張所6) 海外 3(支店3)

(注)記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

邦銀トップ水準の格付

2020年9月30日現在

静岡銀行は「ムーディーズ社」など国内外の3つの格付機関から、日本の大手銀行・地方銀行等のなかでトップ水準の格付を取得しています。



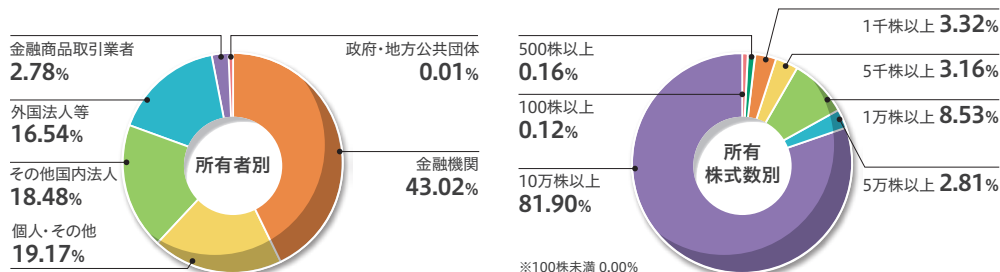
株式情報

2020年9月30日現在

株式の状況

株主数	22,638名 (2020年3月末比98名減)	発行済株式の総数	595,129,069株
		保有自己株式数	21,085,789株

株式の分布状況(単元未満株式を含む)



株主還元状況

DATA.01

第14次中期経営計画期間(2020~2022年度)における株主還元の目標「中長期的に株主還元率50%以上(連結ベース)」に則り、2020年度の1株当たり配当額(年間)は公表どおり22円を予定しています。

配当額の推移

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度予想
1株当たり配当額(年間)	21円	22円	22円	22円(11円)
配当利回り(配当/期末株価)	2.08%	2.60%	3.34%	-

()は中間配当額

株主への利益配分の状況

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度予想	2015~2019年度実績(5年間)
年間配当額①(億円)	125	129	126	126	625(累計)
自己株式取得額②(億円)	97	101	86	-※	439(累計)
株主還元額③=①+②(億円)	222	230	212	126	1,064(累計)
親会社株主に帰属する当期純利益④(億円)	501	469	387	420	2,129(累計)
配当性向①/④×100(%)	24.90	27.63	32.62	30.06	29.36(平均)
株主還元率③/④×100(%)	44.32	49.11	54.90	30.06	49.99(平均)

※現時点での決議事項はありません。

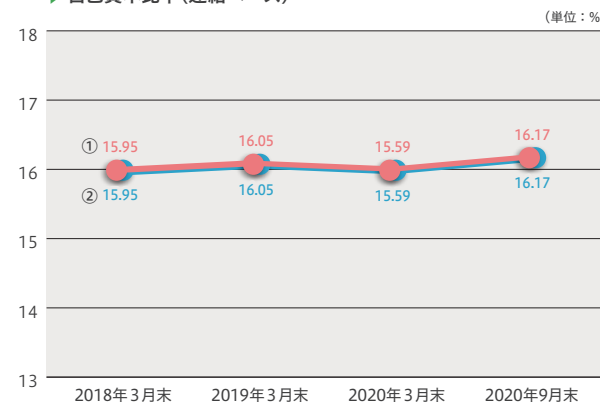
健全性を示す「自己資本比率」〈国際統一基準〉

DATA.02

自己資本比率〈国際統一基準〉は、バーゼル銀行監督委員会が定めた基準により、リスクに応じて計算した「資産(リスク・アセット)」に対する「自己資本」の割合を示す国際的な指標です。

2020年9月末の総自己資本比率(連結ベース)および普通株式に係る株主資本等を中心としたCET1(普通株式等Tier1)比率は、ともに16.17%となりました。

自己資本比率(連結ベース)

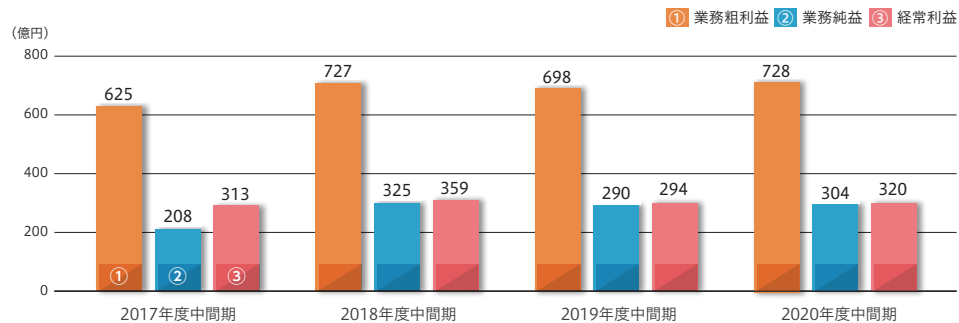


- ① 総自己資本比率
- ② CET1(普通株式等Tier1)比率

業務粗利益・業務純益・経常利益の推移(単体ベース)

DATA.03

2020年度中間期の業務粗利益は、資金利益の増加などにより増益。業務純益も、一般貸倒引当金繰入額が増加したものの、業務粗利益の増加などにより増益となり、経常利益についても、不良債権処理額の減少などを主因に増益となりました。



▶ 主な経営指標(単体ベース)

(単位: %)

	2017年度中間期	2018年度中間期	2019年度中間期	2020年度中間期	前年同期比
ROE (中間純利益)	4.92	5.86	4.49	4.59	0.10
ROA (中間純利益)	0.41	0.51	0.37	0.35	△0.02
OHR (経費/業務粗利益)	66.77	56.88	58.05	55.70	△2.35
1株当たり中間純利益(円)	37.04	47.80	37.41	38.70	1.29

- 1.前年同期比は、表上で算出しています。
- 2.ROE(当期純利益)は決算短信ベースにて算出しています。
- 3.2020年度中間期の連結ベースROE(親会社株主に帰属する中間純利益)は4.73%です。

ROE
[Return on Equity・自己資本利益率]

自己資本を使ってどれだけ利益をあげたか(資本の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

ROA
[Return on Assets・総資産利益率]

総資産を使ってどれだけ利益をあげたか(資産の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

OHR
[Over Head Ratio・経費率]

一定の業務粗利益を得るためにどれだけ経費をかけたかを示す指標です。この値が低いほど効率性が高いことを示します。

有価証券評価損益の状況

DATA.04

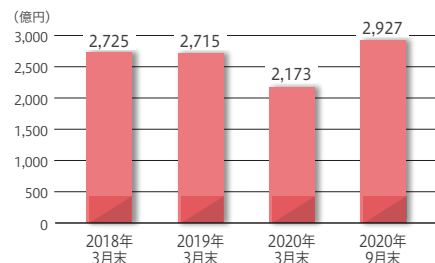
2020年9月末の株式・債券等の有価証券評価損益は+2,927億円と2020年3月末に比べ754億円増加、うち株式評価損益は+2,776億円と2020年3月末に比べ661億円増加しました。

(注)満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式を除きます。

▶ 日経平均株価

2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	2020年9月末
21,454.30円	21,205.81円	18,917.01円	23,185.12円

▶ 有価証券評価損益(単体ベース)

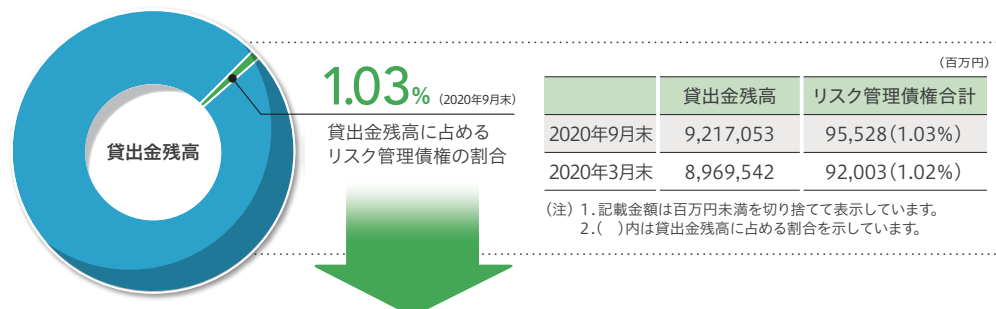


リスク管理債権等の状況

DATA.05

リスク管理債権の状況(単体ベース)

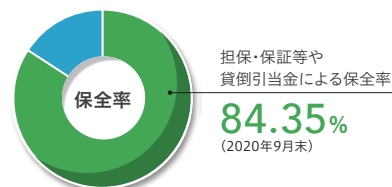
2020年9月末のリスク管理債権の総額は955億円、貸出金残高に占める割合は1.03%と低水準を維持しています。また、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は84.35%となっています。なお、リスク管理債権から部分直接償却額67億円、信用保証協会の保証付貸出金345億円、担保・引当金等394億円を控除した実質的なリスク管理債権は149億円で、貸出金残高に占める割合は0.16%です。



▶ リスク管理債権の内訳

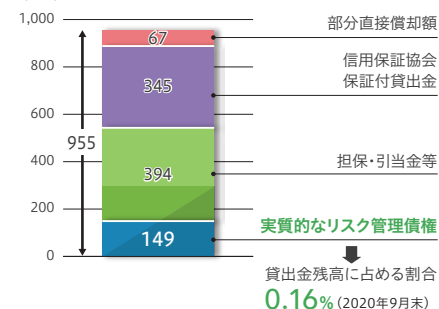
(百万円)

破綻先債権額	3,207 (0.03%)
延滞債権額	77,155 (0.83%)
3カ月以上延滞債権額	865 (0.00%)
貸出条件緩和債権額	14,300 (0.15%)



▶ 実質的なリスク管理債権

(億円)



金融再生法開示債権の状況(単体ベース)

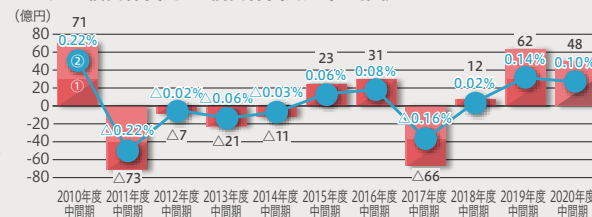
2020年9月末の「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」施行規則にもとづく開示債権の総額は957億円、総与信残高に占める割合は1.02%、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は84.38%となっています。

与信関係費用の状況(単体ベース)

2020年度中間期の与信関係費用は48億円、与信関係費用比率は0.10%となりました。

- ① 与信関係費用
= 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額 - 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益
- ② 与信関係費用比率
= 与信関係費用 / 貸出金平残

▶ 与信関係費用・与信関係費用比率の推移





SHIZUOKA BANK

静岡銀行

<https://www.shizuokabank.co.jp/>



この印刷物には、環境に配慮した
植物油インクを使用しています。

本誌は、静岡県が制定した「カラーユニバーサルデザインのための指針」を参考に編集しています。